

らうす自然講座

オオワシとの 共存を目指して

～北海道とサハリンにおけるオオワシの現状と課題～

講演 **齊藤慶輔氏**
(猛禽類医学研究所代表・獣医師)

プロフィール

1965年生まれ。日本獣医畜産大学 野生動物学教室卒業。
幼少時代をフランスの田園地帯で過ごし、野生動物と人間の共存を肌で感じた生活を送る。94年より環境省釧路湿原野生生物保護センターで野生動物専門の獣医師として活動を開始。2005年に同センターを拠点とする猛禽類医学研究所を設立、その代表を務める。絶滅の危機に瀕した猛禽類の保護活動の一環として、傷病鳥の治療と野生復帰に努めるのに加え、保全医学の立場から調査研究を行う。近年、傷病・死亡原因を徹底的に究明し、その予防のための生息環境の改善を「環境治療」と称し、活動の主軸としている。テレビ番組プロフェッショナル仕事の流儀、ソロモン流、ニュースゼロなどで活動が取り上げられ反響を呼んだ。著書「野生動物のお医者さん(講談社)」で第57回産経児童出版文化賞を受賞。世界野生動物獣医師協会理事、日本野生動物医学学会理事、環境省希少野生動植物種保存推進員。

12月8日(日)

14:00 ~ (15:30終了)

会場

羅臼ビジターセンター

入場無料

当日参加可能です

猛禽類シリーズの講座は、今回が最終回です。

釧路市を拠点として活動する猛禽類医学研究所の代表として、オオワシやシマフクロウなど絶滅の危機にある野生動物の保護に取り組んでいる齊藤慶輔氏を講師にお迎えします。

羅臼ではおなじみのオオワシはどんな鳥？どこからくる？齊藤さんのお話を聞いてみましょう。

お問合せ 0153-87-2828

